

# 文化財

## 1 令和元年度 主要な事業

文化財は、郷土の先人たちが営々として築き上げ、また守り育ててきた貴重な文化遺産である。私たちは身近な郷土の文化財をとおして、先人たちの優れた生きざまを学びとり、あるいは環境の巧みな利用法に接して、私たちの生活文化をより豊かなものにすることができる。その保護・保存と活用は、先人への敬愛の念と自然への畏敬の態度を養う原点でもあり、そして子孫への継承は、私たちの負うべき責務の一つでもある。

本市では、文化財保護法の主旨に則り、文化財の保護・保存と活用を図るために調査・保存・指定・管理・公開等の事業を推進しながら「文化財を活かした」都市づくりを展開している。

### (1) 埋蔵文化財発掘調査

学校施設整備事業、宅地造成事業など公共・民間の各種開発等に伴う事前審査や発掘調査を実施。遺跡の確認、記録保存、現状保存等の措置を講じている。

埋蔵文化財にかかる令和元年度の調査計画は次の表のとおりである。

	遺跡名・次数	時代
1	大友氏館跡第40次	戦国
2	大友氏館跡第41次	戦国
3	城原・里遺跡第22次	古墳・奈良
4	横尾遺跡第157次	弥生
5	府内城・城下町跡第29次	近世
6	尾崎遺跡（確認調査）	弥生
7	羽田遺跡（確認調査）	弥生・古墳
8	中世大友府内町跡（確認調査）	戦国

### (2) 文化財保存整備事業

#### ① 史跡大友氏遺跡保存整備事業

事業者 大分市

史跡大友氏遺跡整備基本計画（第1期）に基づき、短期整備として大友氏館跡庭園遺構の整備を行い、令和2年4月に公開する。

令和元年度の予定

- ・庭園遺構整備工事の実施
- ・史跡大友氏遺跡整備基本計画（第1期）の見直しを行い、改訂版としてまとめる。

#### ② 国指定史跡「大分元町石仏」保存管理事業

事業者 大分市

大分元町石仏の環境調査、及び劣化対策である和紙による脱塩処理を継続し、石仏覆屋改修後の環境モニタリングを行う。研究期間と連携し、効果的な管理手法を検討する。

#### ③ 重要文化財柞原八幡宮本殿ほか4棟保存修理事業

事業者 柞原八幡宮

柞原八幡宮本殿を含む5棟の解体及び半解体、部分修理を行う。

令和元年度の予定

東宝殿及び西宝殿の解体工事

#### ④ 府内城宗門櫓修復公開活用事業

事業者 大分市

傷みが進行している宗門櫓を半解体修理し、公開しながら令和2年7月の完成をめざす。

令和元年度の予定

木製建具製作、中塗り及び漆喰壁仕上げ

#### ⑤ 県指定史跡「曲石仏付双塔（五輪塔）・磨崖連碑」保存調査事業

事業者 大分市

曲石仏を安置する石窟に崩落の危険があることから、今後の保存整備に必要な調査を実施する。

#### ⑥ 府内城跡基礎調査事業

事業者 大分市

府内城跡の整備や保全に資する基礎データを得るため、文献史料調査、石垣カルテ作成（石垣測量調査を含む）、本丸及び内々堀等の城跡の発掘調査（確認調査）を進め、令和7年度には成果を総括した報告書を作成する。

### (3) 各種委員会の開催

#### ① 大分市文化財保護審議会

大分市文化財保護審議会条例により設置。文化財の指定、保存及び活用に関する重要事項について調査、審議することを目的とする。

第1回 令和元年11月頃 開催予定

#### ② 高崎山管理委員会

国指定天然記念物「高崎山のサル生息地」の適切な保全、その他の高崎山の適切な保存管理について検討することを目的とする。

第1回 令和元年6月7日（金）開催

第2回 令和2年2月頃開催予定

#### ③ 大分元町石仏保存整備委員会

大分元町石仏の塩類風化への対策と手法の検討を行う。

第1回 令和元年7月頃 開催予定

#### ④ 史跡大友氏遺跡整備検討委員会

国指定史跡である大友氏遺跡を大友氏遺跡歴史公園として適切に整備し、効果的な活用方法を検討する。

また、史跡大友氏遺跡整備基本計画（第1期）の改訂について審議する。

- 第1回 令和元年4月17日(水) 開催
- 第2回 令和元年7月25日(木) 開催予定
- 第3回 11月上旬頃, 第4回2月中旬頃を予定

- ⑤ 大友氏館跡庭園整備検討委員会  
庭園及びそれに関わる遺構の復元整備や設備, 公開活用に必要な諸施設等の整備について検討する。

- 第1回 令和元年4月16日(火) 開催
- 第2回 令和2年2月中旬 開催予定

- ⑥ 府内城宗門櫓保存修理検討委員会  
府内城宗門櫓の修理を進めるため, 修理の方法等について協議する。

- 第1回 令和元年8月22日(木) 開催予定
- 第2回 令和2年2月頃 開催予定

- ⑦ おおいた地域伝統文化応援事業選考委員会  
大分市内に守り伝えられてきた伝統文化の継承・再興及び発展を通じ, 世代間の交流の増進や地域の活性化を図ることを目的とする。  
令和元年6月7日(金) 開催

- ⑧ 大分市伝統芸能伝承師認定委員会  
大分市無形民俗文化財に指定された伝統芸能の伝承活動に従事する者のうち, 高度の伝統的技術・技法を保持する指導者を大分市伝統芸能伝承師として認定することにより, 伝統芸能の伝承者育成や伝承団体や地域の活性化に資することを目的とする。  
令和元年8月初旬 開催予定

#### (4) 普及・愛護の啓発活動

##### ① 大友氏遺跡情報発信事業

###### ア FUNAIジュニア検定

郷土に対する理解と愛着を深めるため, 小中学生を対象に歴史検定を実施し, 成績上位者は表彰する。また, 合格者のうち希望者を大友氏遺跡等のジュニアガイドとして養成する。

令和元年7月27日(土) 開催

###### イ 大友宗麟副読本

平成25年度から作成している大友宗麟副読本を, 令和元年度も市内の小学6年生に継続して配布し, 授業およびFUNAIジュニア検定に活用する。

併せて, 副読本をさらに詳しく説明した郷土学習資料「大友宗麟と府内のまち」も小学6年生に配布し, より詳しく学んでもらう。

###### ウ 南蛮B V N G O交流館

大友氏遺跡の案内や最新情報の発信をよ

り効果的に行うため, 元町にある「大友氏遺跡体験学習館」を顕徳町の大友氏館跡内へ移転し, 平成30年9月30日に「南蛮B V N G O交流館」として開館した。大友氏遺跡や大友宗麟の功績について, 展示や映像等により紹介するとともに, 大友氏遺跡を中心とした歴史・文化の情報発信拠点として, 効果的な活用を図る。

##### エ ラグビーワールドカップ開催に伴う関連事業(大友氏遺跡フェスタ)

ラグビーワールドカップ大分開催に伴い, 国指定史跡である大友氏遺跡を多くの方に知ってもらい, 特に若い世代に関心を持ってもらうため, 若年層に人気のあるゲームやアニメーション, 音楽等を活用したイベントを実施し, 大友宗麟公や大友氏遺跡の認知度の向上を図る。

また, 発掘調査現場の見学会を行い, ボランティアガイドや専門職員の解説により, 調査成果などの最新情報を発信し, 関心を深めてもらう。

##### ② 文化財防火デー

昭和24年1月26日に法隆寺金堂壁画が焼損したため, この日を文化財防火デーと定め, 文化財防火訓練を展開し, 文化財愛護思想の高揚を図る。

実施予定日 令和2年1月下旬頃  
予定箇所 県指定史跡

「毛利空桑旧宅および塾跡」

## 2 平成30年度指定文化財

### (1) 大分市指定文化財

指定日 平成30年12月7日

#### ① 「大分市出土同範銅戈」(有形文化財)

弥生時代

所有者

伝岩屋遺跡出土銅戈 大分市



「伝岩屋遺跡出土銅戈」



「住吉神社所蔵銅戈」

住吉神社所蔵銅戈

住吉神社(大在)

② 「戸次のほうちよう作り」(無形民俗文化財)  
 保持団体 戸次鮑腸保存会



(2) 国登録有形文化財

登録日 平成30年11月2日

「旧豊予要塞司令官官舎」

大正14年(1925)から大正15年(1926)頃



3 収蔵・公開施設

施設名	毛利空桑遺品館						
所在地	〒870-0101 大分市鶴崎381番地の1						
電話	097-521-4893						
休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日) ただし毎月第1月曜日は開館し翌日休館 年末年始(12/28~1/4)						
概要	<p>鶴崎在住の肥後藩士。儒者、教育家として家塾知来館・郷校成美館などで子弟を教育し、また勤皇家としても活動した毛利空桑の偉業をしのぶため、彼の遺品を収蔵、展示したものである。居宅天勝堂と知来館に隣接する。昭和60年改築。</p> <p>平成30年度入館者数</p> <table border="1"> <tr> <td>大人</td> <td>5,596人</td> </tr> <tr> <td>小人</td> <td>604人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6,200人</td> </tr> </table>	大人	5,596人	小人	604人	合計	6,200人
大人	5,596人						
小人	604人						
合計	6,200人						

施設名	池見家住宅						
所在地	〒870-0315 大分市大字佐野 佐野植物公園内						
電話	なし(問合せは文化財課へ)						
休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日) 年末年始(12/28~1/3)						
概要	<p>江戸時代、原村・久土村を統轄する白杵藩丹生原組の庄屋を勤めた池見家の邸宅で、市内では最古の民家として歴史的な価値を持つものであり、また、普通の民家とは違って庄屋住宅としての構造をよく伝えた建物で、建築史の上からも注目される。 平成3年佐野植物公園内に移築復元。</p> <p>平成30年度入館者数</p> <table border="1"> <tr> <td>大人</td> <td>5,198人</td> </tr> <tr> <td>小人</td> <td>2,697人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,895人</td> </tr> </table>	大人	5,198人	小人	2,697人	合計	7,895人
大人	5,198人						
小人	2,697人						
合計	7,895人						

施設名	海部古墳資料館						
所在地	〒870-0303 大分市大字里646番地の1						
電話	097-524-2300	FAX	097-524-2301				
休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日) ただし毎月第1月曜日は開館し翌日休館 年末年始(12/28~1/4)						
概要	<p>国指定史跡「亀塚古墳」のガイダンス施設として広く古墳文化を案内する施設。展示室には、実物資料や複製品のほか、大型ジオラマ、市内の古墳復元模型を展示し、楽しみながら学べる資料館である。 平成12年4月開館。</p> <p>平成30年度入館者数</p> <table border="1"> <tr> <td>団体</td> <td>3,820人</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>18,078人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>21,898人</td> </tr> </table>	団体	3,820人	個人	18,078人	合計	21,898人
団体	3,820人						
個人	18,078人						
合計	21,898人						

施設名	南蛮BVNGO交流館						
所在地	〒870-0025 大分市顕徳町3丁目2番45号						
電話	097-578-9191	FAX	097-544-5011				
休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日) ただし毎月第1月曜日は開館し翌日休館 祝日の翌日(土・日曜日の場合開館) 年末年始(12/28~1/4)						
概要	<p>国指定史跡「大友氏遺跡」の案内や最新情報の発信をより効果的に行うため、大友氏館跡内に設置した仮ガイダンス施設。4つのゾーンがあり、工夫を凝らした展示や迫力ある映像等により大友氏遺跡や大友宗麟の功績について紹介するとともに、戦国時代の茶室をイメージした立体展示や当時をイメージした衣装体験が行える。平成30年9月30日開館。</p> <p>平成30年度入館者数(10/1~3/31)</p> <table border="1"> <tr> <td>大人</td> <td>7,455人</td> </tr> <tr> <td>子ども</td> <td>1,235人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8,690人</td> </tr> </table>	大人	7,455人	子ども	1,235人	合計	8,690人
大人	7,455人						
子ども	1,235人						
合計	8,690人						

## 文化財

施設名	帆足本家酒造蔵		
所在地	〒879-7761 大分市大字中戸次4381番地の1		
電話	097-597-4649	FAX	097-597-4649
休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日) 年末年始(12/28～1/4)		
概要	江戸時代に日向街道沿いの「在町」として栄えた戸次本町の中心に位置しており、江戸時代の酒造工程を今に伝える蔵やその中に酒造用具が展示されている。(大分市指定文化財)		
	平成30年度入館者数		
	大人	7,396人	
	子ども	326人	
	団体	1,089人	
合計	8,811人		

## 4 指定等文化財

### (1) 国指定

平成31年4月1日現在

#### ① 重要文化財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
太刀	八幡	柞原八幡宮	昭25. 8.29	銘 国宗 長さ 75.8cm	鎌倉時代
太刀	〃	〃	〃	銘 源国(以下一字並年号不明) 長さ 108cm	〃
薙刀直し刀	〃	〃	〃	銘 表「国重八幡大菩薩」裏「天満大自在天神」	鎌倉時代末期～南北朝時代
銅造仏像	〃	〃	〃	社伝 阿弥陀如来立像 金剛仏 重さ 11.25kg 像高 30.3cm	白鳳時代
木造普賢延命菩薩坐像	〃	大山寺	昭50. 6.12	榿材 像高 87.7cm	平安時代
後藤家住宅	柞ヶ原	個人所有	昭50. 6.23	18世紀中頃の庄屋の母屋 寄棟造り 茅葺	江戸時代
白壇塗浅葱糸威腹巻兜・大袖・小具足付	八幡	柞原八幡宮	昭55. 6. 6	胴高 32.3cm 草摺高 28.5cm 兜鉢高 18.0cm	室町時代末期
木造大日如来坐像	上野丘	金剛宝戒寺	平 3. 6.21	文保2 (1318) 康俊作 檜材寄木造 像高 303.8cm	鎌倉時代
柞原八幡宮文書	八幡	柞原八幡宮	〃	柞原宮領関係史料(213通) 元和7年	平安・鎌倉・南北朝・室町・江戸
帆足家伝来田能村竹田関係資料	大分市美術館	大分市	平 6. 6.28	紙本墨画淡彩花卉図外 25点	江戸時代
柞原八幡宮	八幡	柞原八幡宮	平23. 6.20	本殿・東宝殿・西宝殿・申殿・拝殿・楼門・東回廊・西回廊・西門・南大門の10棟	江戸～明治

#### ② 史跡

豊後国分寺跡	国分	大分市	昭 8. 2.28	国分僧寺 追加指定(昭58.9.8 昭61.5.28)	奈良時代
大分元町石仏	元町	〃	昭 9. 1.22	日羅または仁聞の作と伝えられる 保存修理 昭46, 52, 53, 61年以降	平安時代
高瀬石仏	高瀬	〃	〃	石窟を彫り込み奥壁に東を向いて彫られる	平安～鎌倉時代
千代丸古墳	宮苑	〃	昭 9. 5. 1	装飾古墳 横穴式石室	古墳時代後期
築山古墳	本神崎	八幡神社	昭11. 9. 3	前方後円墳 箱式石棺	古墳時代中期



名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
古宮古墳	三 芳	大分市	昭58. 5. 11	石棺式石室墳 九州では他に例なし	終末期古墳(7世紀)
亀塚古墳	里	〃	平 8. 3. 28	前方後円墳 全長約 116 m	古墳時代中期
大友遺跡	顕 徳 ほか	〃	平13. 8. 13	九州六国を支配した大友宗麟を全盛期とする 戦国大名・大友氏の拠点方二町 (200 m四方)	戦国時代
横尾貝塚	横 尾	〃	平21. 2. 12	縄文時代の集落の移り変わりが復元できる。 縄文時代からの地形と自然がよく残されている。	縄文時代

③ 天然記念物

柞原八幡宮のクス	八 幡	柞原八幡宮	大11. 3. 8	自生のクス 樹高約 30m 幹囲約 18.5m	
高崎山のサル生息地	神 崎	大分市	昭28.11.14	都市近郊における日本猿の自然的集団	

④ 無形民俗文化財(選択)

鶴崎踊	鶴 崎	鶴崎おどり 保存会	昭61.12.17	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	
-----	-----	--------------	-----------	---------------------	--

⑤ 登録文化財

大分銀行赤レンガ館 (旧二十三銀行本店・旧府内会館)	府内町	(株)大分銀行	平 8.12.20	鉄筋コンクリート造2階建 スレート及び瓦 棒葺	大正2年(1913)
太田缶詰工場主屋	白 木	(株)秀観	平11. 6. 7	木造2階建 寄棟造 洋風の玄関特徴 接客用 座敷や和室の居住部分と工場事務室併設	明治39年(1908)
太田缶詰工場土蔵	〃	〃	平11. 6. 7	切妻造の2階建て 外壁漆喰仕上げ	〃
太田缶詰工場石倉	〃	〃	平11. 6. 7	外壁周りを石造 軒周り漆喰仕上げ 正面左右に2つ出入り口があるのが特徴	大正期
荻本家住宅主屋	坂ノ市	個人所有	平17. 7. 12	木造平屋建一部2階建 瓦葺 建築面積244㎡	江戸末期
帆足家分家住宅 「松石不老館」主屋	中戸次	個人所有	平17.11.10	入母屋造、棧瓦葺、木造2階建 通り土間をも つ商家建築の形式	明治39年(1908)
帆足家分家住宅 「松石不老館」新座敷	〃	〃	〃	寄棟造、棧瓦葺、木造平屋建 南側に広縁を とり中庭を望む 門及び塀は棧瓦屋根	明治中期
帆足家分家住宅 「松石不老館」道具蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、土蔵造2階建 切石積みの 上に建つ 海鼠壁	〃
帆足家分家住宅 「松石不老館」質蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、土蔵造2階建 切石積みの 上に建つ 海鼠壁 棧瓦屋根の板塀及び門	〃
帆足家分家住宅 「松石不老館」湯殿及び風呂	〃	〃	〃	湯殿を南北棟、風呂を東西棟とし、両棟が接し て建つ 寄棟及び入母屋の屋根、共に棧瓦葺	〃
帆足家分家住宅 「松石不老館」井戸上屋	〃	〃	〃	切石積みの基壇の上に四方に柱を立て、切妻 造、棧瓦葺 切石を長方形の井桁に組む	〃
帆足家分家住宅 「松石不老館」穀物蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、土蔵造2階建 引戸口2箇所 全長に吹き放ちの下屋 切石積みの上に建つ	明治22年
帆足家分家住宅 「松石不老館」味噌蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、木造平屋建 下屋北側2間 半分を壁で囲む 切石積みの上に建つ	〃
帆足家分家住宅 「松石不老館」裏二階	〃	〃	〃	寄棟 棧瓦葺 木造2階建 裏木戸中央に1間幅 の観音開きの木戸口	明治中期
帆足家分家住宅 「松石不老館」門	〃	〃	〃	間口は2.7m、棟門の形式 棧瓦葺、木造 両 脇に塀を続け、門脇に潜戸を設ける	〃
帆足家分家住宅 「松石不老館」塀	〃	〃	〃	切石積みの上に建ち、腰を下見板張り、上部を 真壁造、漆喰塗り 2箇所格子窓、棧瓦葺屋根	〃
帆足家本家住宅 「富春館」主屋	〃	〃	平18.11.29	木造二階建 一部平屋 入母屋造 棧瓦葺 南側中央式台玄関を設け 西側に一段高い座敷	慶応元年(1865)
帆足家本家住宅 「富春館」宝蔵	〃	〃	〃	土蔵造二階建 切妻造 棧瓦葺 一階2室二 階1室 外壁漆喰ぬり 腰を海鼠壁	大正期
帆足家本家住宅 「富春館」質蔵	〃	〃	〃	土蔵造二階建 切妻造 棧瓦葺 一階2室二 階1室 外壁漆喰ぬり 腰を海鼠壁	大正5年頃

## 文化財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
帆足家本家住宅「富春館」洋館	中戸次	個人所有	平18.11.29	木造二階建 寄棟造 棧瓦葺 南側に洋室 東側に店舗を付属 モルタル壁 石造風	大正5年(1916)
帆足家本家住宅「富春館」離れ	〃	〃	〃	木造平屋建 寄棟造 棧瓦葺 南側に廊下 北側中央に八畳座敷 書院風のつくり	昭和12年(1937)
帆足家本家住宅「富春館」表門	〃	〃	〃	質蔵と洋館の間に建つ 二間幅の棟門 木造切妻造 棧瓦葺 両脇に袖塀	江戸末期
帆足家本家住宅「富春館」中門	〃	〃	〃	主屋式台玄関の西側 間口一間 木造腕木門 切妻造 棧瓦葺 両脇に袖壁	江戸末期
帆足家本家住宅「富春館」塀	〃	〃	〃	主屋南側の庭の南側と西側を囲い、質蔵北西隅から宝蔵南まで延びる。南東隅に腕木門	大正期
浄土寺本堂	王子西町	浄土寺	平20.10.23	木造平屋建 入母屋造 本瓦葺 大規模な七間堂	嘉永2(1849)
浄土寺庫裏	〃	〃	〃	木造2階建 寄棟造妻入棧瓦葺 床つきの座敷・奥座敷	江戸後期・末期改修
浄土寺玄関及び渡廊下	〃	〃	〃	木造平屋建 本堂と庫裏を繋ぐ 入母屋屋根の玄関	江戸末期
浄土寺大弁財天石宮	〃	〃	〃	石造 庫裏の西北 庭園内に建つ 一間社流造	明治44年(1911)
浄土寺一伯公廟	〃	〃	〃	木造平屋建 入母屋造妻入棧瓦葺 松平忠直の墓碑を安置する	江戸後期 大正14・昭和49移築
浄土寺表門	〃	〃	〃	木造 左右袖塀付 本堂正面に建つ四脚門	明治後期 昭和26改修49移築
浄土寺北門	〃	〃	〃	木造 瓦葺 柱上に皿斗を置き、その上に台輪をまわす	大正14年(1925) 昭和49年移築
植木家住宅主屋	王子中町	個人所有	平22.5.20	木造2階建入母屋造 1階に出格子彫刻入持送り 市内中心部に残る数少ない商家	安政元年(1854)頃
植木家住宅離れ	〃	〃	〃	入母屋造棧瓦葺 床・違棚・書院を構え意匠に凝る	昭和4年(1929)
植木家住宅離れ控えの間	〃	〃	〃	庇の意匠が数寄屋風 渡り廊下が付随する	昭和4年(1929)
旧豊予要塞司令官官舎	佐賀関	〃	平30.11.2	大正15年(1926)に発足した豊予要塞の司令官官舎。大正14年(1925)から大正15年(1926)年頃の建築。洋風の暖炉のある応接間がある。	大正14年(1925)から 大正15年(1926)頃

## (2) 県指定

### ① 有形文化財

柞原八幡宮文書附絵図	八幡	柞原八幡宮	昭35.3.22	絵図のみ	江戸時代
八幡宇佐宮御託宣集附裏書	〃	〃	〃	宇佐神宮に関する記録16巻と裏書2からなる文明2年(1470)	室町時代
詫摩文書	大分市歴史資料館	個人所有	〃	合計11巻 286点の文書 嘉応元年(1169)～慶長16年(1611)	平安時代末期～江戸時代初期
都甲文書	大分県立先哲史料館	個人所有	〃	合計4巻 90通	平安～江戸時代
刀	森	個人所有	昭43.3.29	豊州高田庄 藤原行長 慶長五年	戦国時代
刀	田尻	個人所有	昭40.3.9	銘 貞行 応永時代	室町時代前半
刀	高松東	個人所有	昭43.3.29	銘 平鎮教 長さ 81.6cm	戦国時代(永禄年間)
木造不動明王坐像	上野丘	金剛宝戒寺	昭44.3.22	檜材 寄木造 像高 86.3cm	平安時代後期
木造不動明王立像	八幡	柞原八幡宮	昭45.3.31	〃 〃 像高 78.8cm	鎌倉時代末期～南北朝時代初期
木造女神形坐像	〃	〃	〃	樟材 一木造 像高 39.5cm	平安時代後期
木造菩薩形坐像	〃	〃	〃	〃 〃 像高 46.6cm	〃
木造祖師形坐像	〃	〃	〃	〃 〃 像高 54.8cm	平安時代末期

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
板彫多聞天立像	八幡	柞原八幡宮	昭45. 3.31	〃 〃 像高 78.4cm	鎌倉時代
板彫不動明王立像	〃	〃	〃	〃 〃 像高 76.9cm	〃
紙本着色由原八幡宮 縁起絵巻附極書二通	〃	〃	〃	絵 土佐光茂 詞 青蓮院宮尊鎮法親王	室町時代
紺紙金泥増壺阿含経	〃	〃	〃	11紙 縦34cm, 横64.2cm 文和4年(1355)に尼法忍により施入	平安時代末期
山水蒔絵縁起絵巻納箱	〃	〃	〃	銘 元和八年中川秀征(岡藩2代藩主)寄進	江戸時代初期
紙本着色厩図六曲屏風一双	上野丘	円寿寺	昭46. 3.23	土佐派の画風春隻と秋隻(各)150.0×52.5cm	江戸時代中期
絹本着色柿本人磨図	〃	〃	〃	土佐信実筆の墨書あり 縦34.5cm 横37.5cm	鎌倉時代後期
刀	千代町	個人所有	昭49. 3.19	銘 藤原統行 平成16年6月21日所有者変更による	
紙本着色風俗画	大分県立 美術館	宗玄寺	昭53. 3.31	大分県柞築市宗玄寺所有 大分県立美術館 寄託	
安藤家刀	横尾	個人所有	昭54. 5.15	銘 豊州高田住大和太椽藤原貞行 平成16年6月21日所有者変更による	
中間石幢	志津留	共有	昭55. 4. 8	造立者の墨書銘あり 応永6年(1399)造立	室町時代
万年橋	寒田	西寒多神社	昭55. 4. 8	文久2年(1862)建造(西寒多神社境内)	江戸時代
金剛宝戒寺 木造釈迦如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	昭57. 3.30	檜材 寄木造 像高161.6cm	鎌倉時代
豊後国諸檢地帳	大分県立 先哲史料館	大分県	〃	文禄2年(1593)7冊 他全82冊 平9年大分県立先哲資料館	安土桃山時代～ 江戸時代初期
太刀	坂ノ市	個人所有	昭63. 3.15	「豊州之住人直宗作 応永十八年□月十五日」銘	室町時代
木造聖徳太子立像	上野丘	金剛宝戒寺	平9. 3.25	檜材 寄木造 像高68cm	鎌倉時代後期～ 南北朝時代
刀	大道町	個人所有	平10. 3.20	豊後国高田住藤原實行作	江戸時代
脇差	〃	〃	〃	〃	〃
築山古墳出土品	本神崎	築山古墳保存会	平10. 3.20	築山古墳出土品一括	古墳時代
絹本着色阿弥陀如来迎図	森町	専想寺	平11. 3.23	1幅 本願寺絵所で制作	室町時代
木造阿弥陀如来立像	〃	〃	〃	1軀 桧材 寄木造	鎌倉時代
巴形銅器	大分県立 埋蔵文化財 センター	大分県	〃	考古資料 雄城台遺跡より出土	弥生時代
教尊寺(7棟)	本神崎	教尊寺	平11. 3.23	本堂・庫裡付玄関・書院・御殿・経蔵・鐘楼・ 山門 江戸期の伽藍構成 建物の大方が現存	江戸時代
絹本着色中川家 歴代藩主画像	大分県立 美術館	西光寺	H12. 3.24	大分県竹田市西光寺所有 大分県立美術館 寄託	江戸時代
刀	常行	個人所有	平13. 4. 3	銘 平長盛(豊後刀の作風強く残す)	室町時代
刀	森町	個人所有	平13. 4. 3	銘文 平長盛 平成19年7月24日	室町時代
木造聖観音菩薩坐像	八幡	大山寺	平14. 3.29	樟材 一木造 像高 273.5cm	平安時代
木造十一面観音菩薩立像	永興	臨濟寺	〃	桧材 寄木造 像高 170cm	〃
早吸日女神社総門	佐賀関	早吸日女神社	平16. 3.30	切妻造 本瓦葺	江戸時代
早吸日女神社本殿	〃	〃	〃	三間社流造 檜皮葺	〃

## 文化財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
早吸日女神社社家 (小野家住宅)	佐賀関	早吸日女神社	平16. 3.30	入母屋造 棧瓦葺	〃
長湯横穴墓群第7号墓 出土品	大分県立 埋蔵文化財 センター	大分県	平17. 3.29	鹿角製刀装具装着鉄刀 他 計28点	古墳時代後期
木造地藏菩薩立像 (愛宕地藏)	青 石	妙蔵寺保存会	平17. 3.30	像高81.5cm, 材質檜, 寄木造, 彫眼, 漆箔が施されている	鎌倉時代
絹本着色涅槃図	上野丘	金剛宝戒寺	平18. 3.31	縦212.3cm 横214.5cm	鎌倉時代
木造聖徳太子二歳立像	勢 家	法専寺	平18. 3.31	松材寄木造 玉眼 像高68.2cm	鎌倉時代
銅造如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	平19. 3.30	総高16.3cm 像高15.1cm 銅鑄造製 鍍金あり	飛鳥～白鳳
大志生木宝篋印塔	十 谷	西岡神社	平21. 3.17	應安六年癸丑六年(1373)の銘。「塔供養」と刻まれている。平成21年大分市指定から県指定へ	南北朝時代
王ノ瀬石棺	大分市海部 古墳資料館	共有	平24. 3.13	家形石棺 辻古墳の主体部が王ノ瀬石棺だった可能性が高い。	古墳時代中期
先哲史料館稲葉家文書	大分県立 先哲史料館	大分県	平26. 2.14	臼杵藩主稲葉家に伝えられた文書。	江戸時代
猪野遺跡出土銅矛	大分市 歴史資料館	大分市	平28. 2.23	弥生中期末から後期初頭にかけて制作されたと思われる中広形銅矛。大分県下唯一の発掘調査による出土品。	弥生時代中期
木造釈迦如来坐像	松 岡	長興寺	平28. 2.23	鎌倉時代から南北朝時代にかけて、慶派仏師の作と考えられる。	鎌倉時代末期～ 南北朝時代初期
佐知遺跡17遺構出土品	大分県立 埋蔵文化財 センター	大分県	平28. 2.23	中津市三光佐知遺跡から出土した遺物。男性を埋葬した墓で、太刀、鉄製矢じり等46点。	鎌倉時代
龍頭遺跡出土編袋	大分県立 埋蔵文化財 センター	大分県	平28. 2.23	杵築市山香町野原 龍頭遺跡より出土。ソル植物で編まれた袋。当時の技法がわかる。	縄文時代後期
高野山本覚院文書	大分県立 先哲史料館	大分県	平29. 3. 7	大友氏およびその家臣, 近世大名にかかる書簡等1946点の文書が残されている。	中世～近代
一方平 I 遺跡出土石器群	大分県立 埋蔵文化財 センター	大分県	平29. 3. 7	大分市横尾字一方平から出土した石器群。石器製作技術の全工程が復元できる資料。	旧石器時代後期
東田室遺跡出土絵画土器	大分県立 埋蔵文化財 センター	大分県	平29. 3. 7	大分市田室町古墳時代の竪穴住居跡から出土, 龍文のひれ部分が描かれた絵画文様。	古墳時代中期 前半
中世大友府内町跡出土 キリシタン関係遺物	大分県立 埋蔵文化財 センター	大分県	平29. 3. 7	大分市顕徳町を中心とした中世大友府内町跡出土のメダイ等キリスト教関係資料。	戦国時代 (16世紀後半)
絹本着色隠元・木庵・ 即非三幅対像	田 室	長福寺	平30. 2. 6	黄檗宗三禅師肖像画 寛文元年(1661)制作	江戸時代
四日市遺跡出土木棺墓 出土品	大分県立 埋蔵文化財 センター	大分県	平30. 2. 6	「青磁唾壺」「隅入宝鏡」等の出土。被葬者は大宰府に關係する玖珠郡の官人と考えられる。	平安時代

## ② 史 跡

丑殿古墳	賀 来	丑殿神社	昭30. 5.28	横穴式石室 家形石棺 (昭47年保存施設)	古墳時代後期
脇蘭室墓	鶴 崎	大分市	昭32. 3.26	墓碑 表面に高弟帆足萬里による「文教脇先生墓」の六字	江戸時代
楠木生石造五重塔	下戸次	個人所有	昭34. 3.20	銘 延文五年(1360)庚子三月十七日	南北朝時代
府内城跡	大手町 荷揚町	大分市	昭38. 2.15	石垣, 土堀, 堀, 櫓2, 櫓跡1	江戸時代
曲石仏付双塔(五輪塔)・ 磨崖連碑	曲	共有	昭41. 3.23	磨崖仏 石窟内に丸彫りの像や陽刻の像が安置される(昭47年補修)	平安時代末期～ 室町時代
口戸磨崖仏附磨崖五輪双塔	口 戸	個人所有	昭44. 3.22	宇佐八幡宮と関連ある磨崖仏	鎌倉時代末期～ 室町時代
毛利空桑旧宅及び塾跡	鶴 崎	大分市	昭45. 3.31	空桑私宅「天勝堂」塾「知来館」安政4年(1857)一緒に建設 遺品館に遺品陳列	江戸時代
岩屋寺石仏	古国府	円寿寺	〃	十一面観音立像がよく残る。	鎌倉時代～ 室町時代
参勤交代道路	今 市	大分市	昭47. 3.21	幅2.1m 長さ660mの石畳	江戸時代
蓬萊山古墳	庄ノ原	共有	昭56. 3.31	前方後円墳 全長60m	古墳時代前期



名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
毛利空桑墓	常 行	共有	昭62. 6.29	墓碑「日本国儒者毛利到墓」と大書 陰刻 昭36.3.14指定後地番誤記判明昭62.6.29 再指定	江戸時代
小牧山古墳群	松 岡	大分市	平23. 2.29	方墳3 円墳2 前方後円墳1 保存状態良好	古墳時代

③ 天然記念物

高島のビロウ自生地	高 島	大分市	昭30. 5.27	ビロウは亜熱帯性の植物。 高島は自生地の北限。	
高島のウミネコ営巣地	〃	〃	〃	400羽程度 5月～8月中旬に営巣	

④ 無形民俗文化財(選択)

賀来神社卯酉の神事	賀 来	共有	昭33. 3.25	記録保存の措置を講ずべきものとして選択 「賀来の市」	
鶴崎踊	鶴 崎	鶴崎おどり 保存会	昭56. 3.31	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	

(3) 市指定

① 有形文化財

熊野権現縁起絵巻	大分市 歴史資料館	熊野神社	昭49. 1. 9	松平忠直の遺品 全13巻(熊野神社)	江戸時代
神庫	寒 田	西寒多神社	〃	校倉造 応永15年(1408) 明治19年改修 (西寒多神社境内)	室町時代
鳥居	王子町	王子神社	〃	寛政8年 (1796) 2月建立(王子神社境内)	江戸時代
刀(大・小)	府内町	個人所有	〃	毛利空桑所持刀 刀 長さ 89.5cm 脇差 長さ 59.0cm	刀 室町時代 脇指 江戸時代
刀	大分市 歴史資料館	大分市	〃	表銘 豊府家士神弧丸盛利行年七十才作 裏銘 天保9年(1838)戊戌2月■日任望角幸安鍛	江戸時代
円寿寺相伝文書及び大友資料	上野丘	円寿寺	昭51. 8.24	開基道勇置文以下15件内 大友関係資料 1巻12通	鎌倉時代～ 室町時代
大般若経本附納函	大分県立 先哲史料館	〃	〃	寛正4年(1463) 寄進	室町時代
御城下絵図	大分市 歴史資料館	大分市	昭56. 8. 1	府内藩主が府内城下から「浜の市」を見物に 行く行列を中心に絵巻物仕立てで描いたもの	江戸時代
十一面観音立像	国 分	国分寺	〃	桜材 寄木造 像高 106.2cm 藤原仏の特徴	平安時代後期
万寿寺石造国東塔	金 池	万寿寺	昭56. 8. 1	国東地方に発達した宝塔の一種	鎌倉時代
波奈之丸屏風(厳島神社図)	大分市 歴史資料館	個人所有	平 2. 7.16	御座船波奈之丸に置かれた屏風	江戸時代前期
熊本藩船鶴崎入港船絵馬	東鶴崎	劔八幡社	平 3. 3.27	熊本藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 寛政10年(1798)	江戸時代
岡藩船三佐入港船絵馬	三 佐	野坂神社	〃	岡藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 文化10年(1813)	〃
府内藩校遊焉館絵図	大分市 歴史資料館	弥栄神社	平 6. 2.28	遊焉館の学習風景を描いた絵図	江戸時代末期
帆足本家酒造蔵	中戸次	大分市	平11. 3.23	酒造過程のわかる木造建築物	明治～大正
脇指	府内町	個人所有	平16. 3.31	銘文 表 豊州藤原友行 裏 貞治七年三月日(1368)	南北朝時代
刀	森 町	個人所有	平16. 3.31	銘文 表 豊後国高田住次右衛門藤原統行 裏 明暦元年九月吉日(1655)	江戸時代初期
刀	永 興	個人所有	平16. 3.31	銘文 表 長谷部國重 相伝の名門の一派 「府内國重」とも呼ばれる	室町時代後期
木造宝冠釈迦如来坐像	太 田	個人所有	平17. 3.31	桧材 寄木造 像高68.5cm	南北朝時代
木造毘沙門天立像	恵 良	西福寺	〃	桧材 寄木造 像高65cm	江戸時代前半

## 文化財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
木造薬師三尊立像	本町	福城寺	平17. 3.31	桧材 一木彫成	室町時代前半
銅造観音菩薩立像	今市	安楽寺	〃	銅製の像 像高26.2cm 懸仏	鎌倉時代後半
丸山八幡神社楼門	〃	丸山八幡神社	〃	享保5年(1720)入母屋造 3回修理	江戸時代
木造地藏菩薩立像 (愛宕地藏)	本神崎	八幡神社	〃	像高96.8cm, 台高36.5cm, 材質檜, 寄木造, 玉眼入りで彩色が施されている	江戸時代初期
大平文書	大平	個人所有	〃	数少ない肥後細川藩領の地方文書 近世文書と近代文書に二大別される	江戸時代～ 明治時代
若林文書・系図	一尺屋	個人所有	〃	大友氏の水軍として活躍した若林家の文書。 国立歴史民俗博物館所蔵若林文書と兄弟文書である。	戦国時代
早吸日女神社石鳥居	佐賀関	早吸日女神社	平17. 9.27	寛永17年(1640)6月の刻銘 熊本藩主細川忠利の寄進	江戸時代初期
早吸日女神社神楽殿	〃	〃	〃	文政10年(1827)以降, 元の半分の規模で現 在地に移築大正4年改築切妻造本瓦葺	江戸時代後期
早吸日女神社拝殿	〃	〃	〃	宝暦13年(1763)6月細川重賢建立 嘉永3年(1850)改修 入母屋造本瓦葺	江戸時代中期
熊本藩船佐賀関入港船絵馬	〃	〃	〃	藩主が参勤交代時に座乗する御座船の図で, 描写法や画材などから江戸末期の作品	江戸時代末期
西谷橋	大平	大分市	〃	文政7年(1824)甲申3月白杵大野の石工, 新 左工門・友蔵によって構築架橋	江戸時代後期
西福寺宝篋印塔	恵良	西福寺	平17. 3.31	宝篋印陀羅尼経を納めた供養塔 総高258.5cm	室町時代
福城寺逆修石幢	本町	福城寺	〃	大永6年(1526)の銘	戦国時代
福城寺宝塔	〃	〃	〃	総高244.5cm	南北朝時代後半
山の川石造宝塔・宝篋印塔	入蔵	個人所有	〃	どちらも溶結凝灰岩製	室町時代前半
摺石幢	摺	個人所有	〃	総高226cm 八角形	戦国時代
原村石幢	原村	個人所有	〃	安山岩製 総高269cm	室町時代後半
地福寺宝塔	福宗	地福寺	〃	2基並立 向かって右184cm, 左176cm	室町時代中期
地福寺石幢	〃	〃	〃	明和8年(1771)の銘 凝灰岩製	江戸時代中期
永富家逆修碑(3基)	新町	個人所有	〃	生前に供養する供養石塔 慶長5年(1600)の銘	安土桃山時代末期
宝泉寺大乘妙典一字一石塔	竹屋	個人所有	〃	総高215cm 享保12年(1727)の銘	江戸時代
霊山寺山門	岡川	霊山寺	平19. 8.12	木造・銅板葺・三間一戸二重門。禅宗様の特 徴が表れている。古文書より寛永15年(1638)建築。	江戸時代
常楽寺文書	岡川	常楽寺	平19. 8.12	大友松野家系図・大友歴代の記載が豊富 少 式頼尚施行状写・毛利輝元書状写・政治状況	中世～近世
光西寺真宗関係資料	末広町	光西寺	平19. 8.12	六字名号・親鸞聖人像・方便法身像・親鸞聖 人絵伝 六字名号は蓮如真筆	室町時代～ 江戸時代
水分神社銅鉾	横尾	水分神社	平20.12. 4	完形品と残欠2個 精巧な鑄上がりで埋納さ れていた 北部九州で鑄造	弥生時代中期末～ 弥生時代後期前
伝岩屋遺跡出土石戈	大分市 歴史資料館	個人所有	〃	細型で遠賀川流域で製作された可能性	弥生時代中期
勝光寺華南三貼花文五耳壺	大分市 歴史資料館	勝光寺	平21.12.16	深い光沢のある緑色を基調とした優品	安土桃山時代
大分市内出土 青銅破鏡	歴史資料館 埋蔵文化財 センター	大分市 大分県	〃	漢鏡 市内の弥生文化を考える上で貴重	弥生時代後期～ 後期終末
原田家宝篋印塔	福宗	個人所有	平22.12.17	総高147cm 安山岩製 四方仏の尊影を浮き 彫りにしている。	室町時代
大分市内出土 青銅器	大分市 歴史資料館	大分市	〃	青銅製ヤリガンナ, 小銅鐸	弥生時代中期～ 後期

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
「天長九年尼寺」「尼寺」墨書土器	大分市歴史資料館	大分市	平23.12.19	豊後国分寺西側より出土。国分尼寺の位置を推定する資料。	平安時代
伝名辺山谷出土銅矛	大分市歴史資料館	大分市	平26.3.11	弥生中期末から後期初頭にかけて北部九州へ制作されたと思われる中広形銅矛。江戸時代に大分市木田の名辺山谷より出土したとされる。	弥生時代中期
木造釈迦如来坐像	永興	臨濟寺	平27.7.3	江戸時代初期から中期にかけて活躍した、大坂の仏師宮内法橋の作と考えられる	江戸時代中期
松栄神社所蔵絵図	大分市歴史資料館	松栄神社	平27.12.25	府内城の櫓および府内藩の施設の姿を表した絵図および指図	江戸時代後期
合澤家所蔵文書	中島	個人所有	平27.12.25	戦国時代に佐賀関一尺屋を拠点として活躍した若林水軍に関係する文書	室町時代～明治時代
立小野区有文書	大分市歴史資料館	立小野区	平29.3.9	江戸時代延岡藩領であった立小野村に残され伝えられた文書。隣接する村々との境界紛争を中心とし、「傘連判状」が残されている。	江戸時代～昭和
木造五劫思惟阿弥陀如来坐像	片島	片島下区	平29.3.9	桧材の寄木造で、単純な衣文、ふくよかな童顔をしており、15世紀の作と考えられ、全国的に造像例が少ない。	室町時代
大分市出土同範銅戈	大分市歴史資料館	大分市住吉神社	平30.12.7	細形銅戈で、「伝岩屋遺跡出土銅戈」と大在の「住吉神社所蔵銅戈」と同じ鋳型より製作された同範銅戈。	弥生時代中期

## ② 史跡

大友頼泰墓	岡川	常楽寺	昭49.1.9	五輪塔 高さ176cm 大友氏三代延享元年(1744)以降 平19.6.4所有者修正	江戸時代
丹生遺跡	丹生	大分市	〃	昭和37年～42年にかけて、6次にわたって調査	旧石器時代
滝尾百穴横穴古墳群	羽田	共有	〃	横穴古墳群	古墳時代後期
伽藍石仏	永興	個人所有	〃	仏像の配列に特徴あり	鎌倉時代～室町時代
府内城跡	荷揚町	大分市	平7.2.17	県指定部分を除く城地	江戸時代
佐藤家墓地五輪塔群	前田	個人所有	平17.3.31	材質すべて角閃石安山岩 完形41基	戦国時代～江戸時代初期
鶴迫磨崖仏	太田	地福寺	〃	地藏尊「火防(ひふせ)の地藏さま」と呼ばれる	安土桃山時代末期～江戸時代初期
鶴迫磨崖連碑	〃	個人所有	〃	15基の板碑型の碑 永禄2年(1559)の銘	室町時代末期

## ③ 天然記念物

オオイタサンショウウオおよび生息地	岡川	霊山寺	昭49.1.9	希少種とされている (霊山寺境内)	
ヤマフジ	寒田	西寒多神社	〃	枝張り 東西約24m、南北約5mの範囲で広がる (西寒多神社境内)	
クスノキ	下戸次	八幡神社	〃	高さ約20m 樹冠の広がり 東西約33m 南北45m (八幡社境内)	
柞原八幡宮の森	八幡	柞原八幡宮	平2.9.12	自然林の残存林 柞原八幡宮境内林	

## ④ 有形民俗文化財

鯰網大漁光景図絵馬	佐賀関	早吸日女神社	平17.9.27	明治45年に奉納された漁撈絵馬で当時の鯰網漁の様子を詳細に描かれている	明治時代
漁業図大絵馬	〃	〃	〃	明治35年に奉納された漁撈絵馬で珊瑚樹採取の船団を描写している	明治時代
帆足本家酒造用具一式	中戸次	大分市	〃	多くの酒造用具が残され、それらは伝統的な民具で構成されている(342点)平19.2.8大分市へ寄付	江戸時代末期～昭和47年

## 文化財

### ⑤ 無形民俗文化財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
柞原太鼓	八 幡	柞原太鼓保存会	昭54. 6.14	柞原八幡宮の放生会「浜の市」に起源をもつ。	江戸時代
深山流 伊与床神楽	端 登	深山流伊与床五柱神社神楽社	平12. 6.16	市内唯一の深山流の流れをもち、忠実に古様を伝えている。	
岡倉神楽	下 原	岡倉神楽保存会	平18. 3. 7	勇壮な神楽であり、活発に活動している。また、伝承も計画的に行われている。	明治時代～
二目川百手まつり	横 尾	二目川百手まつり保存会	平25. 1.11	毎年1月20日に開催。豊に座りの射る儀式「的矢の儀」を継承している。	江戸時代～
鶴崎踊	鶴 崎	鶴崎おどり保存会	昭56. 3.31	江戸時代中期以降に発達した。左衛門、猿丸太夫がある。	国選択無形民俗文化財 県選択無形民俗文化財
戸次のほうちょう作り	中戸次	戸次鮑腸保存会	平30.12. 7	大分地方を代表する郷土料理「ほうちょう」の作り方を継承	

### ⑥ 無形文化財

廻栖野の竹細工技術	廻栖野	保持者2名	平23.12.19	長いヒゴを使用した、青物系の竹細工技術。大分県在来の古い技術。	江戸時代
-----------	-----	-------	-----------	---------------------------------	------

### ⑦ 無形民俗文化財（選択）

羽田神楽	羽 田	大分社羽田神楽	平17. 9.27	昭和45年創立と新しいが、庄内神楽の流れをくみ伝承に熱心に取り組んでいる（選択）	昭和45年～
------	-----	---------	-----------	--	--------



## 5 大分市歴史資料館

大分市大字国分960番地の1

電話 549-0880

FAX 549-5766

### (1) 運営方針

市内を中心とした考古、歴史、民俗の各分野にわたる資料を公開展示するとともに、企画展示、テーマ展示、各種の講座・講演会などを通して、広く市民が郷土の歴史を学ぶ場をめざしている。また、学校と連携して各教育課程に適応した歴史学習や体験活動のプログラムを充実させ、職員が学校に向向いて体験活動の指導を行う「出張歴史教室」を推進する。

更に、大友氏関係及び同時代の歴史資料の調査研究と収集を進め、郷土資料の保存・公開をはかり、大分の歴史に関する情報を積極的に発信する。

### (2) 施設の概要

昭和62年4月 開館

敷地面積 4380.00㎡ 建築面積 1889.60㎡

延床面積 2576.92㎡ 展示室面積 690.75㎡

### (3) 展 示

原始から近世までの通史的展示と民俗資料の常設展示をしている。各種の模型やイラスト、年表などを多用し、平易で立体的な展示を行っている。また、テーマ展示室を設け、テーマ毎に順次館蔵品等を公開している。

#### ① 1階ホール

豊後国分寺七重塔復元模型(1/10)、市内の石仏案内。

#### ② 常設展示室

第1展示室 大分のあけぼの、大分の君と古墳の時代、国分寺と律令の時代。

第2展示室 大友宗麟と中世、近世の府内。

民俗展示室 明治から昭和にかけての食卓風景を中心に、その時代に使われた生活道具をオープン展示。

#### ③ テーマ展示室

常設展示以外の館蔵資料を中心に年3回テーマに沿って展示。

#### ④ 子ども歴史学習コーナー及び自分史・家族史コーナー

子どもたちの調べ学習に利用できる歴史・郷土史の本を設置。さらに、自分史・家族史の展示コーナーを設置。

#### ⑤ 豊後国分寺跡の散策

七重塔跡・金堂跡の礎石や、整備された講

堂・食堂・回廊・中門跡をめぐり、奈良時代を追体験しながらの散策が楽しめる。

### (4) 企画展(令和元年度)

#### ① 第38回特別展

「大分の禅」

会期 9月27日(金)～

11月4日(月)

(開館日数:34日)

内容 日本の文化に今もいきづく茶の湯や水墨画などは禅とともに中国から伝わった。

鎌倉時代に豊後国の守護大友氏が開基し

た禅寺の「万寿寺」を端緒に豊後府内の地にも禅の文化が開花し、室町時代には京都・大坂にまで知られるほど発展した。

本展覧会では、禅寺の名品や大友宗麟ゆかりの品などを集め、鎌倉・室町・江戸時代と時を重ねて変化した大分の禅の文化を紹介する。



紙本著色隠元・木庵・即非三幅対像「隠元像」長福寺 所蔵

#### ② テーマ展示

第1回「解体新書の世界」

会期 4月27日(土)～6月9日(日)

内容 日本初の本格的な西洋医学書の翻訳書として出版された「解体新書」は、その出版を契機にオランダ語を通じて伝わった西洋の学術である蘭学を盛んにした。

日本医学の発展に寄与した「解体新書」と、その影響の広がりを紹介する。

第2回「豊後の南蛮文化」

会期 7月13日(土)～8月25日(日)

内容 16世紀、大友宗麟がキリスト教の布教を許可したことを契機に盛んに南蛮貿易が行われた。日本有数の国際貿易の地として栄えた豊後府内の様子を、キリスト教関連の出版物などから紹介する。

第3回「江戸・明治の木版画」

会期 1月25日(土)～3月29日(日)

内容 木版画には、本の挿絵や今日の新聞にあたる瓦版、名所や役者を描いた浮世絵など様々なものがある。本展示では、江戸から明治時代の木版画の魅力を紹介する。

#### ③ まちかど歴史展示館

大分の歴史や民俗・文化財を紹介するパネルを中心とした移動展示を行う。

## 文化財

### (5) 各種講座(令和元年度)

講座名	期間(開催日時)	定員	内容	備考
ふるさとの歴史再発見・考古のコース	4月～6月 計5回	原則 第2・第4 土曜日 午後2時～ 3時30分	大分県内の発掘調査にかかわる報告	有料
ふるさとの歴史再発見・歴史のコース	7月～9月 計5回		郷土大分の歴史と人物について	有料
ふるさとの歴史再発見・民俗・文化史のコース	10月～12月 計4回		大分の民俗と文化について	有料
ふるさとの歴史再発見・古文書のコース	1月～3月 計5回		中・近世文書の解説	有料
ふれあい歴史体験講座 (親子と一般)	原則毎月第1・3土曜日 午前9時30分～と 午後2時～の2回	各70名	管玉丸玉作り/土笛作り/勾玉作り/粘土埴輪作り/和風作り/土偶作り/土の鈴作り/かご編み/土面作り/折り紙雑作り など	有料
			火起し	無料
昔のおもちゃで遊ぼう (親子と一般)	5月5日(日)こどもの日 午前9時～午後4時	なし	資料館隣の広い史跡公園で、手作りのおもちゃ(竹馬, コマ, お手玉等)で遊ぶ	無料
勾玉作り教室 (親子と一般)	7月27日(土) 11月2日(土) 午前9時～ 午後1時～	なし	事前申し込み不要で、好きな時間に勾玉作りを体験する	有料
夏休みジュニア歴史探検 (小4～中学生)	8月1日(木) 午前9時30分～ 午後3時30分	30名	小中学生を対象に、史跡をめぐる歴史探検などの活動を実施する	有料
歴史教育研修 (小中学校教職員対象)	6月13日(木), 20日(木), 午後5時30分～午後7時 7月30日(火), 12月25日(水) 午前9時～12時	応募	館内見学/体験活動実践講習講義(市内指定文化財)現地学習など	無料
展示解説講座	開催期間中頃の日曜日 午後2時～	各70名	展示品を解説し、会場を案内するテーマ展・特別展ごとに各1回開催	無料

### (6) 利用状況

#### ① 利用者数

年度	入館者		講座室等利用者		合計
	大人	小中高生	大人	小中高生	
平26	9,105	14,355	8,309	13,946	45,715
平27	10,148	11,197	9,832	14,682	45,859
平28	12,273	9,327	10,595	13,754	45,949
平29	11,345	11,518	9,580	13,979	46,422
平30	9,626	10,548	9,727	13,445	43,346

#### ② 利用状況(平成30年度)

区分	観覧者		講座室利用者		移動講座	合計
	個人	団体	一般	講座・体験		
大人	6,273	3,353	3,485	4,508	1,737	19,356
中高生	111	486	582	9,616	3,244	23,990
小学生	822	9,129				
合計	7,206	12,968	4,067	14,124	4,981	43,346

#### ③ 各種講座参加者数(平成30年度)

講座名	延回数	参加者数
ふるさとの歴史再発見	考古のコース	5回 272人
	歴史のコース	5回 244人
	民俗・文化史のコース	4回 160人
	古文書のコース	5回 274人
ふれあい歴史体験講座	19回	1,020人
昔のおもちゃで遊ぼう	1回	271人
勾玉作り教室	2回	375人
ジュニア歴史探検	1回	15人
展示解説講座	4回	125人
合計	46回	2,756人

④ 企画展入館者数(平成30年度)

名 称	期 間	入館者数
第37回特別展 「日本100名城 大分府内城」	10月5日(金)～11月25日(日) (開館日数 46日間)	6,245人
記念講演 「府内城の魅力 -天守・櫓・縄張-」	11月4日(日)	115人
テーマ展示Ⅰ 「王朝文化へのいざない 源氏物語絵」	4月28日(土)～6月17日(日) (開館日数 44日間)	2,605人
テーマ展示Ⅱ 「いきものばかり資料にみる小さな生き物」	7月14日(土)～9月3日(月) (開館日数 45日間)	2,102人
テーマ展示Ⅲ 「収蔵コレクション(2018年度)」	1月26日(土)～3月31日(日) (開館日数 55日間)	4,100人
まちかど歴史展示館	9月15日(土) 大分銀行ドームに設置	3,135人

(7) 調査研究(平成30年度)

① 1階ホール

平成30年度の特別展「日本100名城 大分府内城」の予備調査を佐賀県立名護屋城博物館、愛媛県立図書館などで行った。

② 令和元年度(第38回)特別展調査

令和元年度の特別展「大分の禅」の予備調査を長崎歴史文化博物館、壱岐市立一支国博物館などで行った。

③ 市内、県内の考古・歴史・民俗資料調査

資料館に寄せられる情報をもとに、資料の収集と記録保存を目的とした調査を随時行った。

(8) 資料収集(平成30年度)

展示・保存・研究のため、寄贈・寄託・購入等の方法で、資料の収集につとめている。平成30年度の主な収集資料は以下のとおりである。

① 購入資料

- ・源氏物語絵 2点  
(巻10「初音」 巻23「賢木」)

② 寄贈資料

- ・軍隊手帳や制帽など戦争関係資料 4件
- ・瓦職人道具など民俗資料 5件
- ・磨製石器など考古資料 2件

(9) 刊行物(平成30年度)

- ① 資料館ニュース NO.118～120
- ② 平成30年度(第37回)特別展図録・ポスター・チラシ
- ③ 平成31年度 大分市歴史資料館総合案内
- ④ 大分市歴史資料館リーフレット中国語版

(10) 利用案内

開館時間 午前9:00～午後5:00

(入館は午後4:30まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)

ただし、毎月第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館(祝日の場合は開館)  
祝日の翌日(土・日曜の場合は開館)  
年末年始(12月28日～1月4日)

観覧料 大人 200円(団体150円)  
高校生 100円(団体50円)  
中学生以下 無料

\*団体は20名以上

\*特別展開催中は別料金になることがある

講座室 第1講座室 1時間 150円  
第2講座室 1時間 100円

\*一室として利用することも可

\*冷暖房を使用する場合は4割増しとする

交通機関

J R久大本線 豊後国分駅下車  
徒歩2分